

陽だまりの丘

地域をつなぐ生き生き健康情報誌

Spring & Summer NO.34
2019

特集

山本記念病院
35年の歴史

陽だまりのなか、 手を携えて歩く

新しい年紀が始まった。季節は5月。この国の習慣で、新年度は4月から始まるのだが、私の心の中では新しい1年は、いつも5月から始まった。35年前の5月1日に、この山本記念病院が始まり、それは否応なしに私の人生の導き手となった。奇しくも今年の5月1日、新元号のもとに新しい時代が始まった。

昭和の最後の變動の時を経て平成の30年間、世の中の変化と同じくして、丘の上にポツンと建っていた山本記念病院も、その姿と働きを変化させてきた。

はじめの5年は父の夢のサポーターとして、そして、父の死後はその夢の実行者になるべくもがいてきた。

夢は「患者さん一人ひとりに、最大限の敬意がはられる診療を行える病院を創ること、それが出来る職員を育てること」。そのためには人を愛し、信じることの大切さを自分の宝とできる風土を創ること。振り返って、出来てきたとは到底言えない。

いつも道ははるかで、私は途上にいる。いつになったら近づけるのだろうか？

今5月を迎え、新しい風が吹いている。どんなときにも、新しいことが始まるためには、それまでのプロセスの一つの収束があるはずだ。その収束から生まれてくるものが「紡いできた時間が醸し出した大切なもの」で、それを栄養として次の時代に差し出すのだ。

「平成」は、始まった「令和」に何を手渡せるのか？

そして、私は次に続く人たちに何を手渡せるのだろうか？

始まりのための終わり

山本記念会理事長 山本百合子

連載エッセイ
遥かな道の途中で
第三十四回

『すみれが丘そよかぜクリニック』の 皮膚科の診療体制が充実

『すみれが丘そよかぜクリニック』では、4月より新たに松島朋子医師を迎え、5月には佐野美奈医師の外来もスタートするなど、皮膚科の診療体制が充実しました。

皮膚の赤み、かゆみ、腫れ、いぼやホクロ、抜け毛、爪の変形など、気になることがあったら、なんでもご相談ください。「こんなことで病院にかかるなんて……」と思わず、疑問や悩みなど、お気軽にご相談ください。

詳細は、「すみれが丘そよかぜ」で検索してください。



a message from
Dr. Matsushima

お子様の皮膚についても、お気軽にご相談ください

これまで多くの難治性疾患の患者様の治療に携わってきました。また、湿疹、水虫、にきび、いぼなどの一般的な皮膚疾患の治療を中心に、赤ちゃんからご高齢の方まで治療させていただいています。

私自身が育児に奮闘する母親でもあることを活かし、お子様の肌の症状に悩まれているお母様方の身近な相談相手にもなってきました。

皮膚の病気は、内臓の病気と違って目に見えるため、少しのことでも心配になったり、見た目が気になったりすることがあると思います。わかりやすい説明と、ていねいな診察を心がけておりますので、皮膚の症状でお困りのことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



松島 朋子 医師

すみれが丘そよかぜクリニック

—診療科目—

- 心療内科 ●精神科 ●内科 ●漢方内科
- 皮膚科 ●形成外科 ●美容皮膚科 ●婦人科

※形成外科・美容皮膚科の診療日はクリニックにお尋ねください。

ACCESS



Tel 045-565-9042
横浜市都筑区すみれが丘 13-3



陽だまりの丘 第34号 2019年5月15日発行

発行 医療法人社団 山本記念会
本部企画室
〒224-0024
神奈川県横浜市都筑区東山田町1552
TEL 045 (593) 2211 (代表)

表紙イラスト ● 橋本洋美

『陽だまりの丘』第35号は2019年9月15日刊行予定です。どうぞご期待ください。

山本記念会 基本理念
「人を愛し、人を信じる」という創立者の精神の具現化の為に設立され、その精神に共鳴する人々によって運営される。

- 1 患者様と共に生き、共に成長する病院を目指します。
- 2 快適で、人間味のある温かい医療と療養環境を提供できる病院を目指します。
- 3 地域の皆様、他の医療機関、福祉施設と共に良い医療と良い介護を支える病院を目指します。
- 4 職員一人一人が幸せで、やりがいと、夢を持てる病院を目指します。

陽だまりのなか、 手を携えて歩く

特集
Vol. 34



山本 百合子理事長

「人を愛し、人を信じる」の出発点
「設立当時は、畑に囲まれた丘の上にボツンと建った小さな病院という印象でした。内科と整形外科からスタートし、2か月後には外科、放射線科、リハビリテーション、皮膚科の診療も始まりました」

2019年5月1日、元号が「平成」から「令和」に元号が変わりました。奇しくも、この日は山本記念病院の創立記念日——。それも今年は35年の節目の年なのです。

医療法人社団 山本記念会 山本記念病院は、1984年(昭和59年)、初代理事長の山本善三先生が「人を愛し、人を信じる」という基本理念の基に設立。あとを継いだ山本百合子現理事長もその思いを継承し、患者さん本位の姿勢を忘れず、地域のニーズに即した病院作りに取り組んできました。

今回の特集はスペシャルバージョンとして、山本記念病院の35年の歩みと今後の展望を、山本理事長のインタビューを通して明らかにします。

病院の体制は順調に整備されていきましたが、難点は交通が不便なことだったと、山本理事長は当時を振り返ります。患者さんは最寄りのバス停からかなりの距離を歩いて、病院へ通っていたそうです。

「患者さんに負担を掛けるわけにはいかない、という思いから、病院が中心になって、路線を伸ばしてもらおうようバス会社に交渉しました。努力のかいあって、開院から3年後くらいには、私鉄の主要駅から病院まで、バスで直行できるようになったのです」

山本善三前理事長は、患者さんが、いかに快適に受診できるかを第一に考えた人でした。それもそのはず、山本前理事長は医師であると同時に、患者さんでもあったのです。



山本記念病院 電話:045-593-2211(代表)

「糖尿病を患っており、透析も受けていました。だからでしょう、自分が心から受診したいと思える病院」は、父の理想形として、山本記念病院を設立する大きな原動力となっていたのです」

山本前理事長は、自分が患者になったことで、医療者や患者といった垣根を超えた「人と人との触れ合い」こそが、病院という「場」にもっとも必要要素だと考えたのではないのでしょうか。

人と人が支え合い、医療をとおして互いが成長していける場。成長すること、医師はより良質な医療を提供し、患者さんは癒えることで希望の光をその場に集う人々に還元する——。そうした喜びの循環が「人を愛し、人を信じる」という理念に集約されたに違いありません。

地域の患者さんを大切にする医療

病院にとつての大きな転機は、1991年(平成3年)に訪れました。8月に初代理事長が心筋梗塞で急逝したのです。突然のことだったので、跡を継ぐことになった山本百合子理事長の戸惑いは、推して知るべしでしょう。

「病院の運営は素人ですから、試行錯誤の連続でした。でも、どんなときでも、父の目指す理想は脳裏から離れませんでした。それが実践できたかどうかはわかりませんが、患者さんやまわりの人たちに支えていただき、徐々に

新たな船出に向けて

「最近、とてもうれしいことがあります」と、山本百合子先生は声を弾ませました。

「デイサービスの施設に通ってこられる男性が、自主的に施設のニュースレターを作ってくれたのです」

お年は80歳を超えていますが、若いころ新聞社の特派員をしていた方ですから、執筆や編集はお手のものです。読んでいると自然と心が温かくなるような、素敵な出来栄なのです」

実は元特派員の男性、開院直後から三十年近く山本記念病院を「かかりつけ医」として利用してくださっている

した。改めてみなさんとの出会いに感謝したいと思います。

益々多様化が進む社会を反映し、医療もさまざまな形に変化していきました。特に高齢者に対するものは顕著で、デイサービス施設や老人ホームなど、各人の生活に即した施設が生まれています。

山本記念病院は、みなさまのニーズにお応えするため、いくつかの施設を立ち上げ、現在は山本記念病院を中心として、相互の連携を図りつつ、さまざまな医療活動に従事しています。今後はこの連携を一層強化し、みなさまの健康を多方面からカバーできるような組織づくりを推進していきたいと考えています。

また、各施設では、自分が心から受診したいと思える病院、という原点を忘れず、医療の質向上に向け、努力・研鑽を続けていきたい——。ITなどを導入した新しい医療に対応するためにも、若いスタッフたちには大いに力を発揮してもらいたいですね」

35年という節目を迎えた山本記念病院。その新たな船出が、人と人との優しい温もりにも包まれていることは疑うべくもありません。

だとしたら、患者さんと医師、スタッフのみなさんと進む航海が、まるで陽だまりのなかを手を携えて歩くような安らぎに満たされていることも間違いなんでしょう。

みなさまの健康をカバーする 山本記念病院グループ・クリニック&施設



すみれが丘ひだまりクリニック
電話:045-594-2417
すみれが丘そよかぜクリニック
電話:045-565-9042
夢別邸すみれが丘
電話:045-565-9037

やまびこクリニック
電話:045-591-7333(代表)



日吉本町クリニック
電話:045-560-3766
【リハビリ予約専用】
045-560-3770



介護予防
リハビリセンター港北
(4/1よりエールサポートに
名称変更)
電話:045-308-9670



アクティブライフ リフライズ
電話:045-534-0566



都筑ふれあいの丘クリニック
電話:045-479-1170

都筑ふれあいの丘

センター北

あざみ野

多摩川

JR 南武線

東急田園都市線

鶴見川

JR 横須賀線